第2面 A・B・C・D・E・F

技 能 実 習 計 画

作成日: 年 月 日

	①実習実施者届出受理番号												
	(ふりがな) ②氏名又は名称												
	3	住所	₹	_			(電話	_	_)			
		(ふりがな) ④代表者の氏名											
		⑤法人番号											
				氏名	役職名			住所					
1申請者	法人	(ふりがな) ⑥役員の氏名、役職名及び 住所	1			干	_						
			2			₹	_						
			3			₹	_						
			4			₹	-						
			(5)			₹	_						
			6			〒	_						
	7	業種	大分	〉類(、)小分類	類(`)			
2 技能	全 ②所在地												
実習を 行わせ			₹	_			(電話		_)			
る事業所								· 役職 名					

	(ふりがな) ④技能実習指導員の氏名 及び役職名													役 辑 名	£				
	(ふりがな) ⑤生活指導員の氏名及び 役職名													役 昭 名	Į.				
		氏名	ローマ字										•						
0 ++-41:	1)	八石	漢字																
3技能 実習生	2	国籍(国又は	(地域)																
	③生年月日、年齢及び性別					年	月		日	(才)		性別	(- !	男	•	女)
	④帰国(予定)期間				4	年	月	(年	月		日	~		年		月	F	∃)
4 技能実習の区分					B (第	二号台	と業単	独型	技能集 技能集 技能集	〈習)		E(第	二号	计团体	ェ監理 エ監理 エ監理	型:	技育	と実習	习)
	①移行対象職種・作業の場合				-ド番 重名(号()	作	業名	()
	複数実施の場合			- ド番 重名()	作	業名	()	
5 技能 実習の	②移 の場	8行対象職種 · 場合	・作業以外																
内容	③入国後講習																		
		入国前講習実施の有無			有					無									
	④実	三 百																	
6 技能実習の目標					技能機 技能実 その他	平智等	価試縣 容:	信) 食(言	₹験名 ₹験名	:					,	、	及: 及:)
複数実施の場合				技能機 技能実 その他	平野 平			₹験名 ₹験名						,	、	及:)	
7 前段 階の目 標の達 成状況	1)	目標の達成			技能榜 技能)	食定 ミ習評	価試験	信) 第(章	式験名 式験名	:						、剎	及: 及:)
		複数実施の場	易合		技能機 技能実 その他	平野			式験名 式験名						,	、 彩 、 彩	及: 及:)
	② i 認定	②前段階の技能実習計画の 認定番号																	
8技能実習の期間及び時間数					期間時間	年	年 月 時間	月 引(<i>フ</i>	日 日 【国後記	~			年時	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	月			日) 時	間)

	①監理団体	の許可番	号										
9 団体監理型技能実習	②監理団体	の許可の	別	□ 一般監理	里事業		□特	定監理事業	É				
	(ふりがな) ③監理団体	の名称											
	④監理団体	の住所		〒 −				(電話	f	_		-)
	(ふりがな) ⑤監理団体	の代表者											
	(ふりがな) ⑥監理責任												
	(ふりがな) ⑦担当事業												
	⑧担当事業	所の所在	〒 −				(電話	f	_	_	-)	
	(ふりがな) ⑨計画指導	担当者の											
	⑩取次送出 (送出機関 記載するこ	番号又は	送出機関番号						整理番号	-			
	賃金			月給 ・ 日	 給・	時給						円	
	講習手当			74/18	7 H	3/IH						円	
		①報酬その他②雇用契約期間											
				期間の定め	(有 (年 月	日 ~	,	年月		日) •	. 無)
10 技能実習生 の待遇		③労働時間及び休 憩		(休憩:	時	時	分	~ 分 ~	_	時	時	分	分)
		④所定党	常働時間	年間			時間	/ 週平均	j			時間	刂
		⑤休日⑥休暇⑦宿泊施設						-			_		
		⑧技能等期に負担	実習生が定 1する費用	食費		円、月	居住費		円、そ	その他			円

11 備考	
	※ 過去1年以内に技能実習実施困難時届出書を提出した技能実習生の 有無 □ 有 □ 無

(注意)

- 1 1欄の①は、この申請を行うまでに、既に法第17条の規定による実施の届出を行い、実習実施者届出受理番号を得ている者については記載すること。
- 2 1欄の④及び⑥について、その記載事項の全てを欄内に記載することができないときは、同欄に「別紙の とおり」と記載し、別紙を添付すること。
- 3 1欄の⑦は、日本標準産業分類の大分類及び小分類の記号及び名称を記載すること。
- 4 2欄について、技能実習を行わせる事業所が複数あり、その記載事項の全てを欄内に記載することができないときは、同欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。
- 5 3欄の①は、ローマ字で旅券(未発給の場合、発給申請において用いるもの)と同一の氏名を記載するほか、漢字の氏名がある場合にはローマ字の氏名と併せて、漢字の氏名も記載すること。
- 6 3欄の④は、第3号技能実習に係る申請である場合には、第2号技能実習の終了後第3号技能実習の開始までの間又は第3号技能実習開始から1年以内における本国への一時帰国の期間(一時帰国する予定の期間を含む。)を記載すること。帰国期間が複数あり、その記載事項の全てを欄内に記載することができないときは、同欄に「別紙のとおり。」と記載し、別紙を添付すること。
- 7 5欄の①及び②について、移行対象職種・作業である場合には、主務大臣が別途定めるコード表を参照した上でコード番号、職種名及び作業名を記載すること。移行対象職種・作業でない第1号技能実習に係る技能実習計画である場合には、技能実習の内容が分かるように具体的に記載すること。
- 8 5欄の①について、複数の職種及び作業を実施する場合には、技能検定又は技能実習評価試験の合格に係る目標を定めた職種及び作業については、コード番号、職種名及び作業名を記載し、その他の職種及び作業については、複数実施の場合の欄にコード番号を全て記載すること。また、複数の職種及び作業を実施する理由を11欄に記載すること。
- 9 5欄の③及び④は、技能実習の区分に応じた所定の様式で作成し、提出すること。
- 10 5欄の③につき入国前講習を実施している場合には、その内容について別紙により提出すること。
- 11 6 欄及び7欄について、複数の職種及び作業を実施する場合には、主たる職種及び作業については、上欄に記載し、主たる職種及び作業以外の職種及び作業については、下欄の複数実施の場合の欄に記載すること。
- 12 6欄について、その他の欄にチェックマークを付す場合には、目標とする業務内容、水準等を具体的に記載すること。
- 13 7欄について、第2号技能実習に係る申請である場合には第1号技能実習に係る技能実習計画において定めた目標の達成状況を、第3号技能実習に係る申請である場合には第2号技能実習に係る技能実習計画において定めた目標の達成状況を記載すること。
- 14 8欄について、技能実習の期間が複数あり、その記載事項の全てを欄内に記載することができないときは、 同欄に「別紙のとおり。」と記載し、別紙を添付すること。
- 15 9欄の⑩括弧書きについて、外国人技能実習機構のホームページにおいて公表されている外国の送出機関 に係る番号を記載すること。当該番号が公表されていない場合には、外国人技能実習機構から提示された整 理番号を記載すること。
- 16 10 欄の②について、雇用契約期間が複数あり、その記載事項の全てを欄内に記載することができないときは、同欄に「別紙のとおり。」と記載し、別紙を添付すること。
- 17 11 欄には、認定の申請に係る担当者の氏名、職名及び連絡先を記載すること。また、過去1年以内に技能実習実施困難時届出書を提出した技能実習生の有無(※印)について、該当する欄にチェックマークを付すこと。その他伝達事項があれば併せて記載すること。